

● 下顎埋伏智歯の抜歯手術

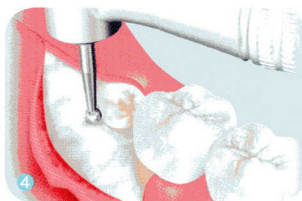
1 抜歯の際に下あごの親知らずの歯根のごく近くを通っている太い神経を傷めないよう、親知らずと神経の位置をエックス線などでしっかりと検査をしておきます。

2 親知らずのある部位の歯ぐきとその前の歯ぐき(第二大臼歯部頬側歯肉)に麻酔を行います。

3 切開を図のように行います。切開によって歯ぐきを開いて、親知らずと骨が見えるようにします。



4 そして、歯が見えるようにあごの骨を少し削ります。



5 歯冠と歯根をタービンにより分割し、歯冠の部分を取り出し、その後歯根を抜きます。(※歯根の形が複雑な場合は歯根を分割し、抜歯します。)



6 抜歯したところをきれいに掃除します。

7 傷口を縫合して終了となります。(最後に止血のために約20分ガーゼを噛んでいたきます。)



昭和大学歯学部
顎口腔疾患制御外科学教室
主任教授 新谷 悟



*この治療法は、代表的な治療法を記載したもので、患者さんの症例によっては、実際に受ける治療と異なる場合もあります。